

元旦に起きた能登地震・・・経験したことのない
大きな揺れ・全壊、半壊の家々・破壊された風景

いのちを手渡してきた里山里海のあまりの
変わりように、これから果て遠い年月を果たして
元に戻れるのか・・・不安の中での4か月近く・・・

その中でも、変わらずに来てくれた春に包まれ
てそれぞれが、色々な選択に悩みながらも又、
何とか前へ・・・と励まされながらの日々です。



能登の自然と人情に魅せられ、この地に移り住み
染を生業とし、50年近く経ちました。

自然の中で、子ども達との、こころ踊る嬉しさ
と原発から10kmの間近、手渡されてきたいのち
を損なうものへの不安のないまぜの中で、その時
々の喜び、哀しみ、怒りの思いを、染に込めず
には いただけませんでした。



世界が不安定な中、二度と繰り返さないと誓った
はずの戦争が間近に忍び寄る不安も感じる日々・・・
何を手渡してゆくのだろうか？と、孫達やまだ見ぬ
ちいさな人達へ、詫びたい思いも募ります。

複雑な工程を仲間達に支えられながら、自分の
気持ちをもなだめるためにも、いつしか増えて
いった染絵たち・・・。同じ想いで、いのちや平和を
願うたくさんの方々にお会いすることも出来まし
た。



昨年、工房を訪ねて下さった富山の皆さんのお
力で叶った富山展。いのちへの想いを培ってこ
られた実行委員の皆さんと、能登で色を重ね続
けた1枚も、場所こそ違え“いのちこそ”とい
う想いを共に紡げることに感謝です。そうして
出会えた皆さまと又、出来ることで、子ども達
の明日へつないでゆきたいと、心より願って
います。 本当に、本当に、有難うございました。